



景況DI値は回復傾向にあるが明暗がわかる

概況(全体)

3月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが6.7%(前回調査0%)、「悪化」が50.0%(同68.3%)で、業界全体のDI値は-43.3となり、前月調査と比較し25.0ポイント回復している。

全国及び東北・北海道ブロックの景況DI値も前月と比較すると回復傾向の動きを示しており、緊急事態宣言の解除等による生産活動や消費活動の向上がみられる。

しかしながら、新型コロナウイルスの収束は依然としてみえず、収益面や資金繰り面で引き続き悪影響を受けている。

業界別の状況

緊急事態宣言の解除を受け、製造業においては受注減の底打ち感から、業況を「悪化」と回答した業種割合が減少し、「不変」とする回答が増加した。

また、非製造業においては、業況を「悪化」と回答する業種・業界は依然として多いものの、一部においては「好転」と回答するところもあり、明暗が分かれてきている。しかし、「好転」の兆しを感じつつも、新型コロナウイルスの感染は拡大していることから、先行きが見通せない業種が多いとみられる。

全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較

	秋田県	全国	東北・北海道
全体	-43.3	-41.5	-40.6
製造業	-50.0	-41.4	-37.9
非製造業	-38.9	-41.5	-42.0

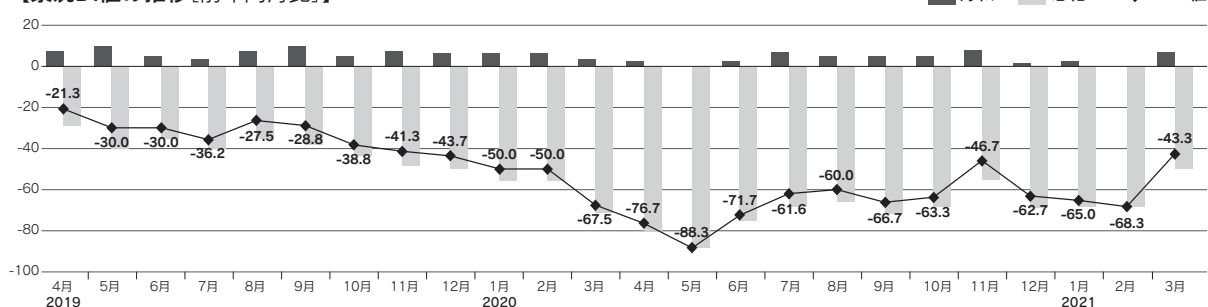
景況天気図

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化
非製造業	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化

【凡例】
 快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 くもり △10以上 △30未満
 雨 △10未満 △30未満
 雷雨 △30未満
 【天気図の見方】
 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

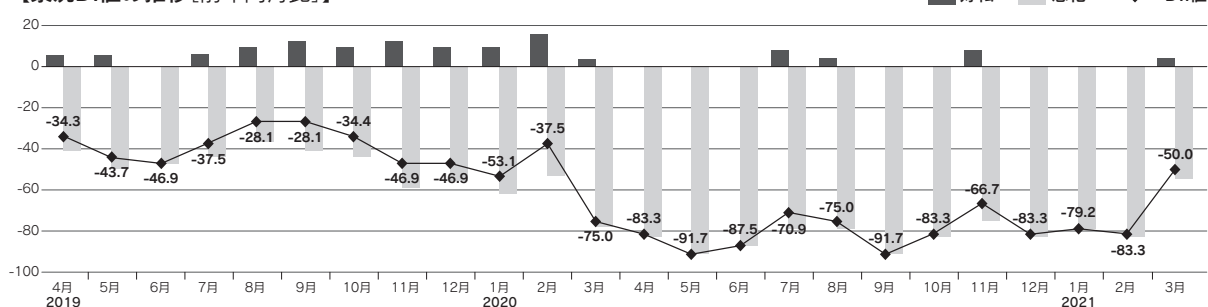
業界全体

【景況DI値の推移[前年同月比]】



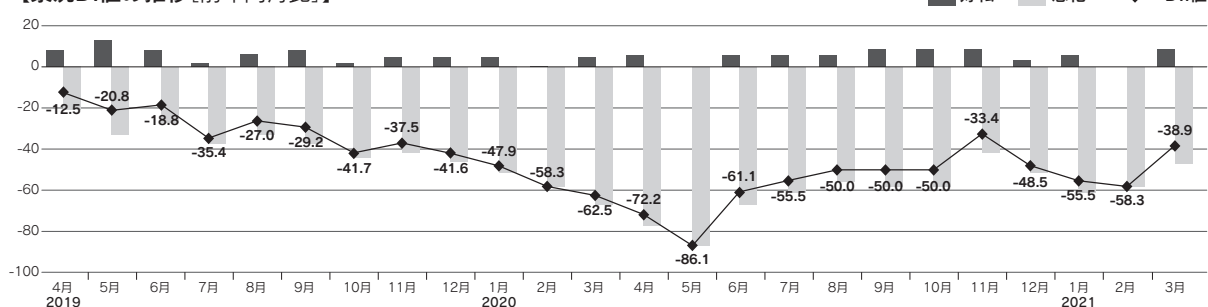
製造業

【景況DI値の推移[前年同月比]】



非製造業

【景況DI値の推移[前年同月比]】



●製造業

(回答数:24名 回答率:100%)

【食料品(豆腐)】

学校給食については従来の納品数に戻っているが、一般の飲食店やホテル等の需要が回復せず売上は昨年並みとなった。

【食料品(パン)】

4月から食料油が値上りしており、小麦粉も間もなく値上げとなる。今後は原材料価格の上昇が懸念される。

【繊維工業(ニット)】

春夏物の発注量、価格ともに前年を下回っており苦しい運営が続いている。医療用ガウンの生産も3月で終了し、4月以降の生産ラインを埋められない状況である。

【木材・木製品(一般製材)】

コロナの影響により停滞していた住宅着工件数が回復してきている。さらに外材(ホワイトウッド等)の輸入量が激減していることから、国産材の需要が高まっている。

【窯業・土石製品(生コンクリート)】

3月の出荷数量は前年同月比103%。4月～3月累計で93.6%。今年度は大館北秋、秋田県南地区が前年を下回った。特に全県の出荷数量の4割近くを占める秋田県南地区が前年比70.7%と大雪の影響も重なり大幅減となった。

【鉄鋼・金属(鉄鋼)】

原材料価格(鉄、ステンレス等)が上昇している。オリンピック需要終了後は、関東圏での建築工事が減少し、価格競争での受注も見受けられ、今後は材料価格の推移状況を注視しながら、受注価格を検討する必要がある。

【一般機器(金属加工)】

受注は上向き傾向で、一時帰休しているところはない。本格稼働とはいえないものの、底を脱した感はある。

【その他の製造業(曲げわっぱ)】

新型コロナウイルスの影響により、売り上げ不振が続いている。特にイベントや観光地での落ち込みが深刻である。しかし、ふるさと納税が堅調に推移しており、返礼品としての需要が売上に貢献している。

●非製造業

(回答数:36名 回答率:100%)

【卸売業(古紙)】

前年が緊急事態宣言下で減少していたこともあり、全回収量は昨年より4.7%(24,400kg)増加した。また、1月と2月が寒かった事も影響したと考えられる。

【小売業(みやげ品)】

本来、3月は観光客が多い時期であるが、大都市圏での緊急事態宣言により、観光客は少なく、コロナ以前の売上の10%程度の実績であった。(県南地区)

【小売業(自動車)】

3月の新車販売台数は登録車3,478台(99.9%)、軽自動車3,093台(108.8%)、合計6,571台(103.9%)であった。

【商店街】

春のまちゼミ(第2回)が終了したが、参加人数はやや減少であった。期間中首都圏のコロナ増や変異種の報道もあり、警戒感が感じられた。(県北地区)

【サービス業(旅行)】

国内・海外とも取扱の実績はなかった。グループ用の「秋田の旅再発見」もコロナ不安で申し込みが無い状態である。

【サービス業(タクシー)】

一部地域では、自治体から移動困難者(高齢者や妊婦、免許返納者等)への交通支援金があり、その使用期限が3月末だったため利用者が増えたが、繁華街からの利用は壊滅的な状況である。

【建設業(電気工事)】

事業所の規模の大小に限らず、人手不足もあり電工は多忙であった。また、引き込み線工事も増えており、一般住宅の着工が増えてきているものと思われる。(中央地区)

【運輸業(トラック)】

例年、年度末は荷動きが良い時期ではあるが、今年度は、往復の輸送貨物量が安定していないため低調に推移した。売上は前月、前年同月ともに微増となっているが、燃料価格の値上げが影響し収益は減少している。燃料の価格の上昇は4月以降も続く見通しである。(県南地区)

*DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。